施策名　①社会教育活動の推進

10 年後のめざす姿像

誰もがそれぞれの学びと経験を活かした地域活動を展開しています。

重点的な取り組み

（１）明るく豊かな地域づくりを進めるため、自発的な学習と地域の連帯感を醸成する社会教育活動を推進します。
（２）生涯にわたる発達段階に応じた学びを推進し、生きがいやまちづくり、地域活動につながる取り組みを推進します。
（３）文化芸術活動に触る機会を提供し、生活に潤いを感じる活動を推進していきます。
（４）地域間交流や国際交流を行ない、他地域の文化等を学ぶとともに交流を通して豊かな人間性と社会性を育む取り組みを推進します。

数値目標

文化やスポーツに親しむことができると思う町民割合 64.8%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

本別町総合教育大綱、本別町社会教育中期計画、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

教育委員会社会教育課、図書館、資料館、企画**振興課**

現状と課題

本町ではどの年代においても趣味や芸術、文化・体験活動に関する学習欲求が高い傾向にありますが、思うように学習の機会を得ることができない人もあるため、学びのための環境づくり、学びを通じた人づくり、ネットワークづくりの支援を行っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　②幼児・学校教育の充実

10 年後のめざす姿像

子育て家庭や子どもの健やかな成長を地域で支援し、全ての子どもがいきいきと成長しています。

重点的な取り組み

（１）人格形成の基礎となる幼児期において質の高い教育・保育活動を提供します。
（２）一人ひとりの発達段階に応じた個性を生かした教育を実施し、基礎学力の向上を図るとともに、様々な学習機会を通じて生きる力を育むことに努めます。
（３）幼児から高等学校生徒までの子どもたちを学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすことにより、幼児・学校教育を支援する体制づくりを進めます。
（４）本別高校の魅力ある学校づくりを支援していきます。
（５）道徳心や思いやりの心を養う教育を推進するとともに、いじめや不登校などに関する相談体制の充実を図ります。
（６）子どもたちが充実した学校生活が送れるよう、学習環境の整備、充実を図ります。

数値目標

子どもが元気にいきいきと過ごせていると思う町民割合 78.6%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

本別町子ども・子育て支援事業計画、本別町総合教育大綱、学校施設長寿命化計画
本別町社会教育中期計画、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

子ども未来課、教育委員会管理課、学校給食共同調理場、教育委員会社会教育課

現状と課題

人工知能をはじめとする情報科学技術の急速な発展と普及が進む社会の変化に対応し、子どもたちが自らの可能性を発揮し、未来を切り拓いていく力を身に着けていくため、教育関係機関、保護者、地域のみなさんとともに「ほんべつ学びの日」事業を推進していく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　③スポーツ活動の推進

10 年後のめざす姿像

誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かな日常生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）健康や体力づくりのため、年齢や体力に応じて多様なスポーツに親しめるよう、関係団体等と連携を図り、生涯スポーツ活動を推進します。

（２）各種競技力向上のための技術講習会、大会等を開催するとともにスポーツ少年団やスポーツ団体活動を支援し、体力増進とスポーツ活動の日常化を図ります。

数値目標

スポーツ活動を行っている人の割合等

施策に関連する個別計画名

本別町教育大綱、本別町社会教育中期計画、健康ほんべつ２１
本別町公共施設等総合管理計画

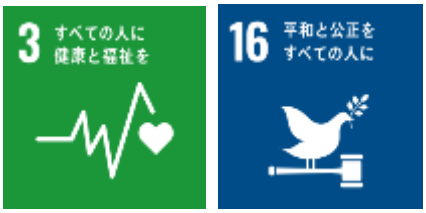
施策を実施する部課局名

教育委員会社会教育課、健康管理センター

現状と課題

人口減少が進む中、スポーツ活動の中心を担う体育協会や少年団活動団体数は現状を維持している状況で、地域の指導者等の活動協力により、各大会において優秀な成績を修め、スポーツ奨励賞を受賞する選手が育ってきています。

関連するＳＤＧｓ



施策名　④農林業の振興

10 年後のめざす姿像

町の基幹産業である農業が経済を支え、町の発展の基礎となっています。

重点的な取り組み

（１）農地の基盤整備やスマート農業の導入などを促進し、農畜産物の安定供給と農業経営の安定と強化を図ります。
（２）農業行政の効率的な執行と生産力向上のため地籍調査を行い、農地の適正管理と集積化を推進します。
（３）有害鳥獣対策を強化し、農作物への被害を抑制します。
（４）循環型農業の形成及び農業の活性化のため、家畜糞尿を処理する施設整備を進めます。
（５）農村が持つ多面的機能を活用した魅力ある地域づくりを推進します。
（６）農業経営の大規模化及び高齢化による担い手確保に努めます。
（７）森林が持つ多くの公益的機能を発揮するため、森林資源の維持増進を進めます。

数値目標

本別町の農業産出額 101.4 億円（2017 年農林水産省推計値）を増額します。

施策に関連する個別計画名

本別町農業振興地域整備計画、人・農地プラン、水田フル活用ビジョン
本別町鳥獣被害防止計画、本別町森林整備計画、特定間伐等推進計画
本別町地域材利用推進方針、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

農林課、農業委員会、建設水道課、企画振興課

現状と課題

農家戸数の減少により１戸当たりの平均経営耕作面積は平成 25 年では 34.3ha でしたが、平成 30 年度では 37.9ha と 3.6ha 増加し、農業収入は増加していますが、土地購入や大型農機具の購入等、投資的経費が増え経営に影響を与えており、安定的な経営を維持するための取り組みが重要になっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑤商工業の振興

10 年後のめざす姿像

地元購買活動の推進により誰もが地域循環による恩恵を受けて生活しています。

重点的な取り組み

（１）事業者が安定的な経営基盤を確立するため、本別町商工会と連携した事業を展開します。

（２）人材育成及び後継者対策、新商品開発に向けた起業家支援事業を実施します。

数値目標

本別町の商業年間販売額 151.0 億円（2016 年経済センサス活動調査）、工業製造品出荷額 234.4 億円（2018 年工業統計調査）を増額します。

施策に関連する個別計画名

生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画、~~公営企業経営戦略~~
~~本別町の導入促進基本計画、~~本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

企画振興課

現状と課題

人口減少や事業主の高齢化、後継者不足等により、商業の事業者数と従業員数は減少してきています。本別町商工会と連携を図り既存事業の見直しを図っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑥観光の振興

10 年後のめざす姿像

農産物や恵まれた自然を活かした観光の振興により、多くの人が訪れるまちとして賑わいをみせています。

重点的な取り組み

（１）義経の里本別公園一帯について魅力ある施設整備を進め、交流人口を増やします。
（２）道の駅及び周辺施設の整備・充実を図り、誘客数の拡大を図ります。
（３）きらめきタウンフェスティバルを町民だれもが誇れる事業として継続していきます。
（４）本町の特産品等の販路拡大など経済活性化につなげる取り組みを強めます。

数値目標

義経の里本別公園年間利用人数 140,012 人、道の駅「ステラ★ほんべつ」年間利用者人数 341,384 人（いずれも 2018 年度企画振興課調）を増加します。

施策に関連する個別計画名

本別町都市計画マスタープラン、本別町公園施設長寿命化計画
本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

企画振興課、建設水道課

現状と課題施策名

観光客や滞在者といった交流人口を拡大することによって、人口減少による影響を緩和させ、地域に活力をもたらしていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑦地域福祉の推進

10 年後のめざす姿像

誰もが住み慣れた地域で必要な支援を受けながら安心して生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）誰もが安心して心やすらかに暮らすことができるよう、地域での支え合い活動や、課題解決に向けた取り組みを推進します。

（２）生活上の困りごと等について包括的な相談支援を通じて、自立支援に向けた取り組みを強めます。

数値目標

本別の人が優しく協力的であると思う人の割合 70.3%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

地域福祉計画

施策を実施する部課局名

総合ケアセンター、保健福祉課、健康管理センター、子ども未来課

現状と課題

複雑化・多様化する地域福祉課題に対応するため、専門機関や自治会と連携を強めていく必要があります。また、自治会活動員や民生委員委員の高齢化などもあり、新たに支えとなる人材の育成など、長期的な視点での活動が必要になっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑧子育て支援の充実

10 年後のめざす姿像

子育てする家庭を地域の人たちが支え、少子化が改善に向かっています。

重点的な取り組み

（１）子どもの成長と子育てのすばらしさを喜び会える地域を形成していきます。
（２）子どもの権利を尊重し、子どもが夢をもって活動する環境づくりを進めます。
（３）健やかに産み育てる子育て環境の充実を図ります。
（４）自然と地域と親しみ、豊かな心と生きる力を育みます。

数値目標

子育てがしやすいまちだと思う人の割合、子ども園に児童を通所させている率

施策に関連する個別計画名

本別町子ども・子育て支援事業計画、母子保健計画
本別町公共施設等総合管理計画

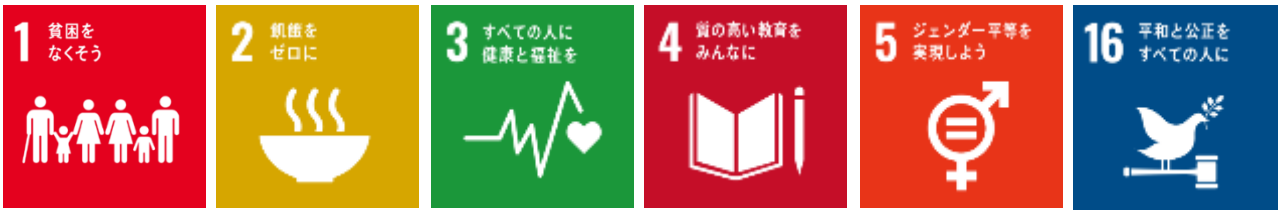
施策を実施する部課局名

子ども未来課、健康管理センター

現状と課題

年々出生者数は減少し、少子化が進んでいます。このことは将来の働き手不足等の懸念だけでなく、子どもの育つ環境にも影響を及ぼすおそれがあります。また、子育て家庭の生活形態の変化から保育ニーズの多様化、児童虐待の発生、子どもの貧困など解決すべき様々な社会的課題があります。

関連するＳＤＧｓ



施策名　⑨高齢者福祉の充実

10 年後のめざす姿像

まちぐるみの支え合いにより安住の地として高齢者の活動、生活が営まれています。

重点的な取り組み

（１）介護の担い手育成と地域での支え合い体制を構築します。
（２）高齢者の住宅に係る支援と基盤整備を進めます。
（３）夢や生きがいを持ち、健康で社会参加を果たす活動を推進します。
（４）住み慣れた地域で安心して生活を続けるための支援体制を整えます。

数値目標

住み慣れたこのまちで満足して生活を続けている高齢者割合を増やします。

施策に関連する個別計画名

銀河福祉タウン計画、本別町公共施設等総合管理計画
本別町国民健康保健病院新改革プラン

施策を実施する部課局名

総合ケアセンター、特別養護老人ホーム、国民健康保健病院

現状と課題

要介護認定者数は増加していないものの、介護サービス費は増加傾向にあります。介護保険料の負担を抑えていくためにも、重症化の予防に努めるとともに在宅生活を重視した介護サービスの提供を図っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑩障がい者福祉の充実

10 年後のめざす姿像

誰もが多様な個性を尊重し、分け隔てなく暮らしていく社会の醸成にむけた活動を行っています。

重点的な取り組み

（１）障がい理解と障がいのある人との交流を推進します。
（２）障がい者福祉サービスと障がい者雇用の充実を図ります。
（３）発達に心配のある児童への支援を強めます。

数値目標

障がい者を雇用している事業所数●件（●年調査）を増加します。

施策に関連する個別計画名

障がい福祉総合計画、本別町子ども・子育て支援事業計画、健康ほんべつ２１
母子保健計画

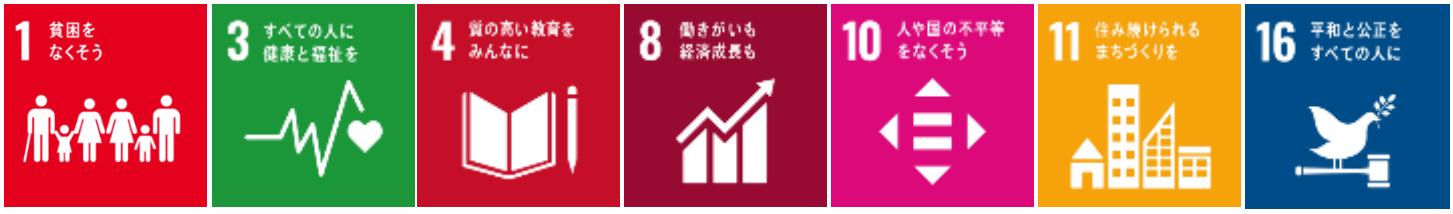
施策を実施する部課局名

総合ケアセンター、児童発達支援センター、健康管理センター、子ども未来課

現状と課題

障がいのある人との日常的な交流を図る銀河サロン等や、障がい者週間記念事業の開催を支援し、広く障がいに対する理解を深める活動を行っています。また、総合的な相談支援体制の充実を図り、障がいの有無に関わらず住み慣れた地域で安心して暮らしていける体制の構築を進めています。障がい者雇用につきては就労支援サービス事業が主なものとなっていて、一般就労に向けての支援体制づくりが課題になっています。

関連するＳＤＧｓ



施策名　⑪健康づくりの推進

10 年後のめざす姿像

誰もが健康に関する自己管理意識を持ち、健やかで心豊かに生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）食べることは健康の基本と捉え、毎日の食事に配慮し、歯の健康を保つことで健康寿命を延ばす取り組みを推進します。
（２）楽しく身体をうごかして、心も体も健やかになる活動を推進します。
（３）働く世代や子育て世代のメンタル対策により、心の健康を維持します。
（４）生活習慣病の予防のために特定健診の実施率を高めます。

数値目標

特定健診受診率 48.8%（2018 年度）、特定保健指導実施率 40.0%（2016 年度）を高めます。

施策に関連する個別計画名

健康ほんべつ２１、第３次本別町母子保健計画、特定健診等実施計画
第２期本別町保健事業実施（データヘルス）計画
本別町新型インフルエンザ等対策行動計画

施策を実施する部課局名

健康管理センター、国民健康保健病院

現状と課題

死亡原因及び医療費に占める生活習慣病の割合がいずれも６割を超えている状況で、疾病予防と重症化を防ぐためにも特定健診受診率および各種がん検診率を上げて行く必要がありますが、国の受診目標値 60%を下回っている状況にあります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑫医療体制の充実

10 年後のめざす姿像

この地を終の棲家として選び、安心して暮らせる医療体制が整っています。

重点的な取り組み

（１）救急告示病院として 24 時間、365 日の患者受け入れ体制を整え、医療と安心を提供します。

（２）地域包括ケアの実現のために、介護・保健・福祉部門と連携を深め、最後まで自分らしく暮らせる地域の実現をめざします。

（３）医療体制を確保し、良質な医療を継続的に提供するため経営の効率化を図ります。

数値目標

外来患者数１日平均 193.9 人（2016 年度）を増加します。

施策に関連する個別計画名

本別町国民健康保険病院新改革プラン、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

国民健康保険病院

現状と課題

病床数 60 床、人工透析 20 床を保有し、理学療法室、臨床検査室、内視鏡室を備え、ＣＴスキャンやＭＲＩ装置などの機器を整備するなどし、診療体制を整えています。しかし、人口減少とともに患者数が減少し、減収となっています。引き続き安心して必要な医療を提供するために医療従事者の確保に努めるとともに、健全な経営を行っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑬防災対策の推進

10 年後のめざす姿像

誰もが孤立することなく、災害時等における支援を受ける体制が整えられていて安心して日常生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）日頃からの防災意識の高揚を図るとともに、災害時における避難情報などの発信を行います。
（２）自治会等の助け合い活動により要援護者等の避難支援体制を整えます。
（３）災害時における初動体制を確立し、被害の防止、災害の拡大を防止するための取り組みを強めます。
（４）あらゆる緊急事態の発生時において適切な対応をとるため危機管理体制を整えます。
（５）森林の有する土砂災害防止機能を発揮するため適切な森林整備と治山事業を行ないます。

数値目標

災害時要援護者等の個別避難支援計画を協議済みの自治会 36 か所（2018 年）を増やしていきます。

施策に関連する個別計画名

本別町地域防災計画、地域福祉計画、本別町都市計画マスタープラン
本別町水道ビジョン、本別町森林整備計画

施策を実施する部課局名

住民課、総合ケアセンター、建設水道課、農林課

現状と課題

高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦、外国人等は災害時において自力で十分な行動をとることができないことから、平時から自治会等と連携を図り、避難が必要な事態において自治会等が担当者を決めて具体的な支援体制を確立する必要があり、災害時要支援名簿を整備、活用することが重要となっています。この取り組みは多くの自治会等で取り組まれていますが、全ての地域で体制がつくられるよう支援していきます。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑭消防・救急体制の充実

10 年後のめざす姿像

行政区を超えた連携体制により、消防・救急体制の維持が図られ、誰もが安心して生活をおくることができています。

重点的な取り組み

（１）住民の安心・安全な暮らしを支えるため広域消防・救急体制の充実を図ります。

（２）町内の消防防災活動を担う消防団員の確保に努めます。

数値目標

福祉・医療関係機関との連携から救急救命処置を行う体制づくりを進めます。(数値設定できれば)

住宅用火災報知器の設置率 69.2%（2018 年 6 月調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

十勝圏広域消防運営計画、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

本別消防署

現状と課題

行政区を超えた出動を行うなど初動体制の確立が図られています。消防団員の活動は広域ではなく、地域に限定されていることもあり、担い手を確保して安全・安心な体制を維持していくことが課題となっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑮安心・安全な生活の維持

10 年後のめざす姿像

地域の見守り活動により、犯罪被害が無く、誰もが安心した生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）広く交通安全意識の普及啓発を行ない、交通事故のない安全で安心な暮らしを守ります。

（２）関係団体と連携を図り、防犯意識の啓発と防犯活動を推進し、犯罪防止、消費者被害防止に努めます。

数値目標

事故や犯罪が少なく安心して暮らすことができていると思う人の割合 89.6%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めていきます。

施策に関連する個別計画名

地域福祉計画

施策を実施する部課局名

住民課、総合ケアセンター、企画振興課

現状と課題

交通安全対策では街灯啓発活動や交通安全指導員による登校時指導、交通安全教室を実施しています。また、見える防犯活動として、こども 110 番の家の取り組みや青色回転灯防犯パトロール隊、すきやいたいによる登下校時の見守り活動が行われています。さらに、保護司会、更生保護女性会、生活安全推進協議会、消費者協会等で様々な防犯対策を取り組んでいます。これらの活動団体では高齢化が進むなど担い手の育成が課題となっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑯交通網の充実

10 年後のめざす姿像

個々の生活形態に添った新交通体系により、通院や買い物などに利用され、住み慣れた地域で生活しています。

重点的な取り組み

（１）生活道路の整備と維持修繕を計画的に進め、安全で快適な通行を確保します。
（２）通院や買い物等に利用する交通手段ニーズを反映した路線等の見直しや新たなサービスの導入を図り、利便性の高い地域公共交通の確保を図ります。
（３）本別ジャンクション釧路ー北見ランプの早期整備を求め、北海道横断自動車道の要所としての地の利を生かした事業を展開します。

数値目標

地域交通網体系に満足している人の割合を増やしていきます。（今後調査）

施策に関連する個別計画名

本別町橋梁長寿命化修繕計画、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

建設水道課、企画振興課、健康管理センター、

現状と課題

現在、町内で運行する公共交通は十勝バス帯広陸別線、本別・浦幌生活維持路線バス、太陽の丘循環バス、へき地患者輸送バス、町営バス（スクールバス）、本別ハイヤーとなっていますが、走行する地域や利用時間が限定されていることや料金負担の関係から、医療機関への受診や買い物等のために利用する交通手段の確保が課題となっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑰循環型社会の推進

10 年後のめざす姿像

地球環境を保全するため、誰もが資源を有効に活用する意識を持ち、豊かな自然と安定した生活が保たれています。

重点的な取り組み

（１）ごみ発生の抑制と排出抑制の推進、資源化の推進、適正処理の確保に取り組んで行きます。

（２）容器包装廃棄物（鉄、アルミ、ガラス、ペットボトル、プラスチック、紙、ダンボール等）の排出抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再利用（リサイクル）の３Ｒを基本とし、最終処分量の削減と環境負荷の低減を図ります。

（３）公共施設における節電機器の導入等により電気使用量の削減を図り、二酸化炭素排出量を低減していきます。

数値目標

１世帯当たりのごみ処理量 0.53ｔ（2018 年度）を減らしていきます。

施策に関連する個別計画名

ごみ処理基本計画、本別町分別収集計画、本別町地域温暖化対策実行計画

施策を実施する部課局名

住民課、企画振興課

現状と課題

平成 31 年（2019 年）４月から十勝圏複合事務組合くりりんセンターで資源ごみ以外の処分を行ない、資源ごみについては従来の池北３町の共同処理及び町単独処理を行っていますが、ごみ処分方法の変更によりリサイクルへの意識低下を招かないよう徹底した資源化を推進していく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑱上下水道環境の充実

10 年後のめざす姿像

災害にも耐えられる施設管理により、安全で快適な上下水道環境が確保され、誰もが安定した生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）取水施設と浄水施設の機器更新を計画的に行い、基準に適合した安全安心な水道水を安定的に供給します。

（２）快適な生活環境を確保するため、公共下水道の未整備地域における整備と浄化槽整備を行うとともに、下水処理場機器等の計画的な整備を行います。

数値目標

上水道普及率 99.1%、簡易水道普及率 79.0%、公共下水道水洗化率 92.1%、汚水処理人口普及率 83.3%（いずれも 2018 年度）を高めていきます。

施策に関連する個別計画名

本別町水道ビジョン、本別町水道事業経営戦略、本別町下水道事業経営戦略
生活排水処理基本計画、本別町公共施設等総合管理計画
本別町森林整備計画

施策を実施する部課局名

建設水道課、農林課

現状と課題

安全で良質な水道水の安定的な供給と健全経営に努めていますが、人口減少等により水の需要は年々減少し、老朽化している施設の更新や地震などの災害に対応するための経費が増大しているため、経営の効率化を図っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑲住宅環境の充実

10 年後のめざす姿像

誰もが住み良い住宅環境の中で、充実した生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）空家の利活用と適正な管理について、所有者と行政間のみならず、民間事業者や専門家等と連携を図り、総合的かつ持続的な空家対策を実施します。

（２）居住水準や設備水準の低いものは建て替えや廃止し、長期的に活用できるものは改修を行うなど、高齢、障がい、子ども等、誰もが安心して暮らせる公営住宅を整備します。

数値目標

空家戸数●●戸（2019 年）を減らしていきます。

施策に関連する個別計画名

本別町住宅政策推進計画、本別町空家等対策計画、本別町公営住宅等長寿命化計画
地域福祉計画、本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

建設水道課、総合ケアセンター、企画振興課

現状と課題

本別町居住支援協議会において空き家対策及び利活用に係る協議を進めています。また、東北部３町で設置した移住サポートセンターと連携し、首都圏でのフェアや相談会へ参加しているほか、空き家情報をホームページで紹介しています。利活用できる空き家物件は、直ぐに借主が見つかる現状で、良質な空き家を確保することが課題となっています。

関連するＳＤＧｓ

施策名　⑳生活・衛生環境の充実

10 年後のめざす姿像

目的に応じた土地利用が機能的に集約され、誰もが質の高い生活をおくっています。

重点的な取り組み

（１）農用地、森林などの自然的土地利用の保全に配慮し、住宅地、商業地、工業地などの配置について、社会情勢の変化に応じて柔軟に土地利用を図り、有効な都市環境の形成を図ります。

（２）安全で安心して、くつろぐことができる公園施設の整備・維持管理について計画的に実施していきます。

（３）まちの明るさを演出するため、環境美化活動を推進します。

数値目標

本別町は自然環境に恵まれていると思う人の割合 90.9%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

本別町都市計画マスタープラン、本別町公園施設長寿命化計画
本別町公共施設等総合管理計画

施策を実施する部課局名

建設水道課、住民課

現状と課題

身近にある公園、広域的に利用されている運動公園、観光としても親しまれている義経の里本別公園など、それぞれの機能や効果を継続的に発揮していくため、また、幼児から高齢者までがふれあいを持ち、安らぎを求める場として安全に配慮した環境整備を保全していく必要があります。

関連するＳＤＧｓ

施策名　㉑開かれた町政の推進

10 年後のめざす姿像

町民力を生かしたまちづくりが推進され、誰もが自らの意思で誇りをもって活動を展開しています。

重点的な取り組み

（１）「広報ほんべつ」「かけはし」の定期発行による行政情報を提供していきます。
（２）町民の意見をまちづくりに生かす機会を拡大していきます。
（３）男女が互いに尊重し、社会参加して活躍するため、仕事と家庭の負担割合の均一化を推進します。
（４）情報公開制度、個人情報保護制度に対応した適切な文書管理を行ないます。

数値目標

町民の行政参加が進んでいると思う人の割合 44.0%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めていきます。

施策に関連する個別計画名

本別町情報公開条例

施策を実施する部課局名

企画振興課、総務課

現状と課題

町民力をまちづくりに生かして行くには、町民と行政が共通の視点で協働していく体制づくりが必要です。参加しやすい、活動しやすい環境形成と町民参加によって、どのような成果が得られたのかを形づくっていくことが必要です。

関連するＳＤＧｓ

施策名　㉒行財政改革の推進

10 年後のめざす姿像

町財政状況を踏まえ、適格な予算執行により、町民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。

重点的な取り組み

（１）限られた財源を有効に活用し、最少の経費で最大の効果を上げるために、事業成果の検証と自治体経営感覚を持って各種事業の見直しを図ります。

（２）公共施設の長寿命化、利活用促進と統廃合を進めることにより、事業の継続と健全な財政運営との均衡を図っていきます。

（３）少子・高齢化、人口減少に伴う事業の効率化や、住民ニーズ、生活圏域の拡大に対応するため行政区域を超えた広域的な行政運営を行っていきます。

数値目標

本別町役場は信頼できると思う人の割合 60.7%（2019 年総合計画アンケート調査）を高めます。

施策に関連する個別計画名

行財政改革大綱、行財政改革数進計画、本別町公共施設等総合管理計画
本別町過疎地域自立促進市町村計画

施策を実施する部課局名

総務課、出納室、企画振興課、議会事務局、住民課

現状と課題

交付税が減少を続けている現状において、財政調整基金を活用しながら財政運営を図ってきましたが、基金の残高も少なくなってきており、今後、町税収入や交付税が大幅に増額することは見込めないため、投資的経費や事務事業、各団体等への補助金の見直しを図り、収入に見合った支出を行っていく必要があります。

関連するＳＤＧｓ